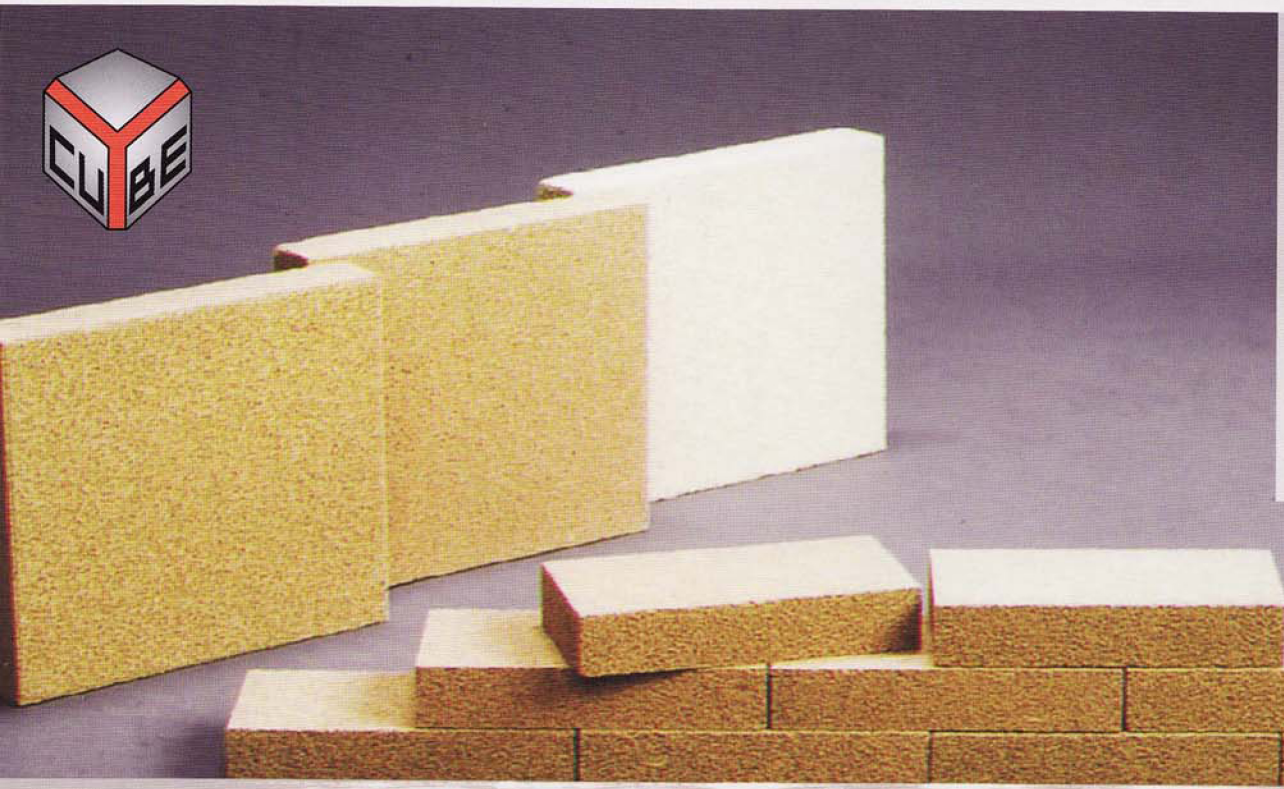
USA・ロシア・ウクライナ　特許取得／日本・中国　特許出願中

「音」空間を演出する画期的素材

Y-cube 誕生

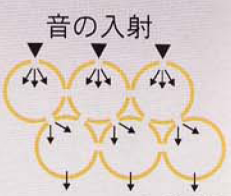
多孔質セラミック吸音レンガ

「吸音」は音のエネルギーを熱のエネルギーに分散する現象で音の性質を分解し音を柔かくします。弊社の建築・音響設計・施工業務では、お客様からの建築物への機能・ニーズに基き、人に優しい「音」環境を創造します。





▲断面図



▲模式図

●低音域から高音域まで吸音率が高くフラットで優れた吸音特性を備えています。

●レンガでは初めての連続気泡構造で通気性が抜群です。

裏面データシートのグラフの通り残響室法吸音率試験で各周波数において背後空気層無しの状態でも吸音性能が高くフラットな特性があります。ホール等音響室の残響音調整に最適で、吸音性能・残響時間値などの物理量で表現・評価可能な項を定め、それを満足する仕様を検討し、微妙な「音」環境の創造が可能です。



●意匠性が優れた上質のレンガ形状の吸音材料です。

標準色3色の他、お客様のご要望にあったカラーレンガを取り揃えております。
「音響の基本に忠実に施工する事」をモットーに様々な建築物に対応した「音」環境を構築します。

●不燃建材です。
（不燃認定番号：NM-0387）

●リサイクル製品です。

●断熱性が優れており、調湿性があります。

●軽量で加工が簡単です。

用　途 use of a product

音響・騒音・遮音設計用

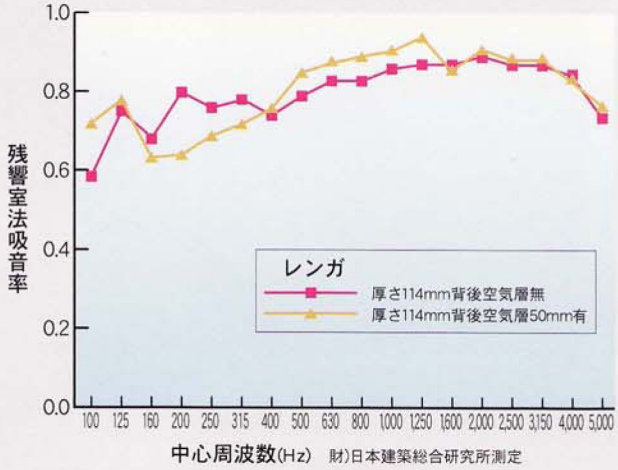
スタジオ・ホール・ホームシアター・会議室・集会所・体育館・プール・清掃工場・下水処理施設・発電所
鉄道・地下鉄・道路・トンネル・掘割・冷却塔・空調施設等あらゆる建築物に対応しています。

吸音原理 the principle a sound absorption

Y-cubeはセラミック製の小さな発泡体の集合で構成されています。音のエネルギーは**Y-cube**に入射し連続気孔中を通過するとき、空気の粘性抵抗によって、熱エネルギーに変化して減衰します。

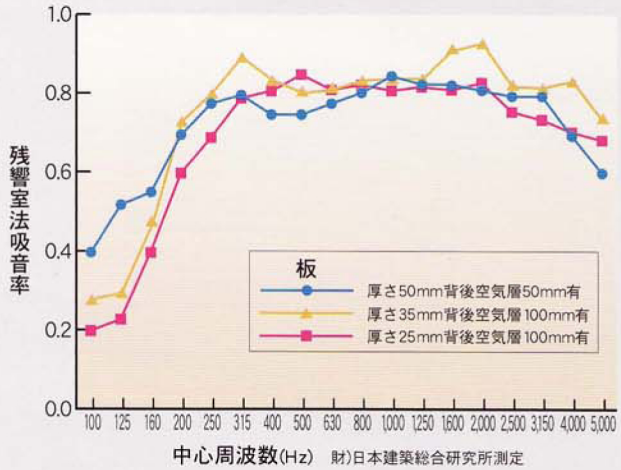
多孔質吸音レンガ Y-cube データシート

残響室法吸音率A



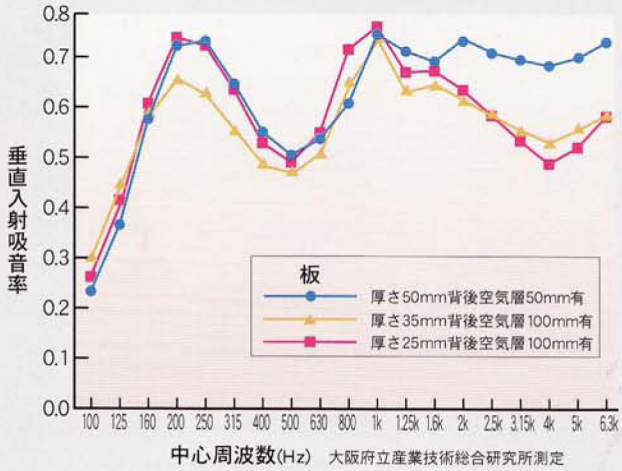
中心周波数(Hz)　財)日本建築総合研究所測定

残響室法吸音率B



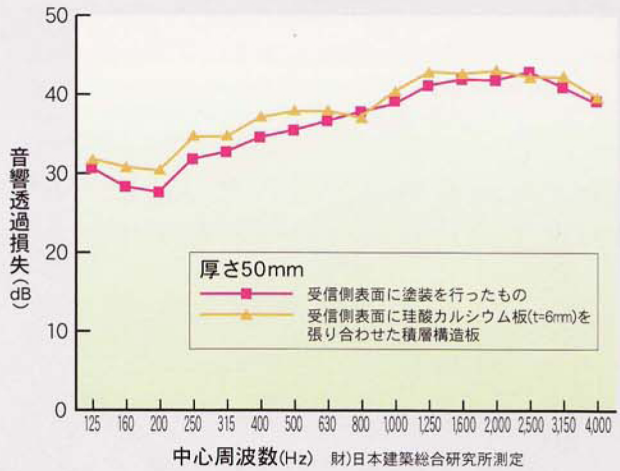
中心周波数(Hz)　財)日本建築総合研究所測定

垂直入射吸音率



中心周波数(Hz)　大阪府立産業技術総合研究所測定

音響透過損失



中心周波数(Hz)　財)日本建築総合研究所測定

標準品 300 角平（単位：mm）		
品　名	寸　法	厚　み
YC25	297 × 297	25
YC35	297 × 297	35
YC50	297 × 297	50

物　性　値　表			
かさ比重	気孔率	圧縮強度	ヤング係数
0.8	46%	7.8N/mm²	4.2kN/mm²
曲げ強度	熱伝導率	耐熱試験	耐薬品性試験
2.5N/mm²	0.17W/mk	1160℃溶倒開始	異常なし

商品のご質問・お問合せは

（販売元）株式会社 八 木 萬
〒591-8041 大阪府堺市北区東雲東町３丁１番１２号
TEL 072-255-6643　FAX 072-255-6644
E-mail info@yagiman.jp　URL http://www.yagiman.jp

（製造元）ODK技術研究センター